

- 1) *S. Funghomii* Mc CLURE (sp. nov.) —— 廣東廣西兩省の産 で未だ自生状態に於ては知られて居らない。
- 2) *S. lima* (BLANCO) MERR. —— 廣東省並にヒリツピン群島の産、で支那では從來知られて居らなかつた種類であつたが 海南で栽培して居るものと同時に野生品も見つかつた。
- 3) *S. hainanense* MERR. —— 海南島の産 で此所で始めて記載が發表された。
- 4) *S. dumetorum* (HANCE) MUNRO. —— 廣東省。
- 5) *S. chinense* RENDLE. —— 雲南省。

六枚の Plates の内五枚は此等五種の花の解剖圖で最後の一枚には *S. chinense* を除く四種の竹の皮の圖である。(大井次三郎)

金平亮三氏：—— ミクロネシア植物總覽 (Ryōzō KANEHIRA: —— An Enumeration of Micronesian Plants in Journ. Depart. Agricult. Kyushu. Imperial University Vol. 4, no. 6, November 30, 1935).

日本委任統地ミクロネシアは約 1400 島 2149 sq. km. より成るがこの地嘗つてはイスパニヤ領、獨逸領であり其の後日本の委任統地となつたところである。金平氏はこの間に於ける研究史を述べられ、現今知られてゐる 1219 種を擧げて居られる。これ等は 142 科 616 屬に分類され、この中 8 屬 456 種がこの地帯に固有であり 230 種は輸入種であるとの事である。日本人としては小泉博士 1914-1915, 金平博士 1929-1933, 細川學士 1933-1934, の採集研究がある。從來この地帯にはかゝる總覽なく且つ近年多數發表された新研究がすべて擧げられてあつて後進者を大いに利する事と思はれる。(北村四郎)

雜 報

ボダイジュの天生

鄭萬鈞氏によれば、ボダイジュ (*Tilia Miqueliana* MAXIM.) は支那、南京の東にある寶華山 (Paohua-shan) に生ず。(中國科學社生物研究所論文集、植物組、第九卷、第二號、181 頁参照)

Erycibe obtusifolia BENTH.

故 E. H. WILSON 氏は、沖繩島嘉手納にて本品を採集した事を Jour. Arnol. Arbor. I. p. 183. に示してあるが Arnold Arboretum に藏する本品を見ると、實は然らずして *Erycibe Henryii* PRAIN. (= *E. acutifolia* HAYATA.) ホルトカヅラ、サダカヅラで